

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	教育講演
タイトル	医療・介護関連肺炎
日 時	平成 25 年 3 月 31 日 13 : 30~14 : 30
会 場	第 8 会議室
演 者	順天堂大学医学部総合診療科・乾啓洋先生
企画趣旨	<p>医療・介護関連肺炎（Nursing and Healthcare Associated Pneumonia; NHCAP）は、2011 年 8 月に日本呼吸器学会によって発表された、日本の医療の現状を考慮した肺炎の概念である。これによって、日本では肺炎を市中肺炎（Community Acquired Pneumonia; CAP）と院内肺炎（Hospital Acquired Pneumonia; HAP）、そして NHCAP の 3 つに分類するようになった。以前に CAP に分類されていた肺炎の一部と HAP に分類されていた肺炎の一部が NHCAP に分類されている。このため NHCAP は CAP と HAP の特徴をそれぞれ併せ持っており、実際の医療現場で出会う NHCAP は CAP に近いものから HAP に近いものまで、幅広い範囲の肺炎が含まれている。例えば、若い維持透析患者が肺炎を起こしても、在宅介護を受けている高齢者が誤嚥性肺炎を起こしても、共に NHCAP に分類される。ガイドラインの内容は、そのような”幅広さ”をふまえて作成されており、実地医家が状況に応じて柔軟に対応できるような内容となっている。</p> <p>在宅医療における肺炎の多くは NHCAP に分類されることから、在宅医は NHCAP ガイドラインを十分に理解しておく必要がある。本講演では、NHCAP の基本概念を確認しながら、それに基づく抗菌薬の選択やガイドライン利用における注意点に触れる。</p>